

## 第1章 調査の目的と概要

---



## 1 調査の目的

調布市では、調布市基本構想に掲げたまちの将来像「みんながつくる・笑顔輝くまち調布」の実現に向けて計画的なまちづくりを進めています。併せて、現行の総合計画の計画期間が平成24年度で終了することから、平成25年度からの10年間のまちづくりの方向性を示す新たな総合計画として、「(仮称)第5次調布市総合計画」の策定に向けた取組を進めています。

(仮称)第5次調布市総合計画の策定に当たっては、「参加と協働」によるプロセスを大切にしながら、平成23年4月には、公募や無作為抽出での募集による市民15人と職員等15人の合計30人で構成する「調布市基本構想策定推進市民会議」を設置し、これまで協働で新たな基本構想の案づくりを進めてきました。

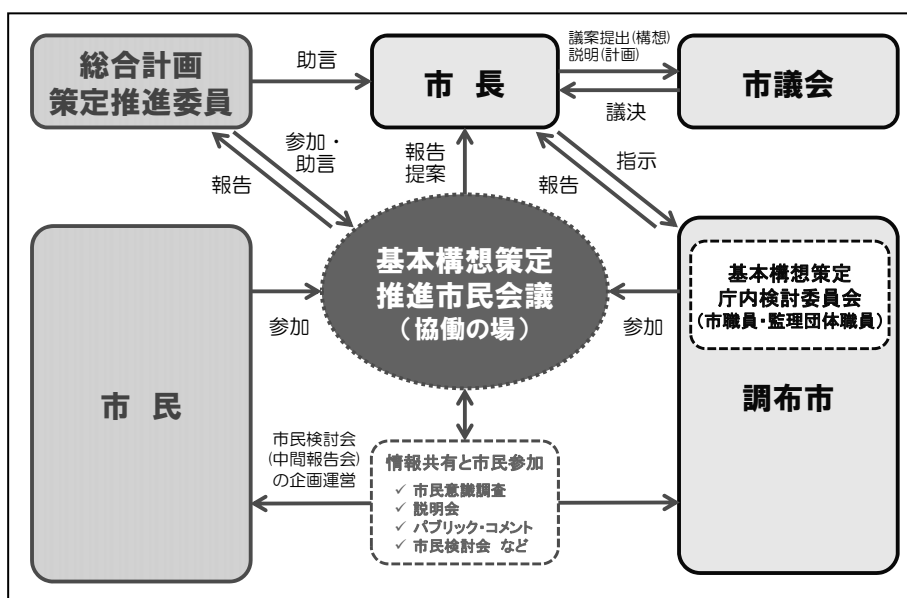
本調査は、調布市基本構想策定推進市民会議で検討を重ねた、基本構想の骨格を示す8つの目標と14のテーマに対する共感度やテーマごとに優先すべき取組のニーズを把握し、今後の計画づくりに活用することを目的としています。

## 2 (仮称)第5次調布市総合計画の策定体制と検討結果の概要

### (1) 策定体制

新たな基本構想の策定に向け、策定体制の中心的な検討組織として、「調布市基本構想策定推進市民会議」(以下「市民会議」という。)を設置し、平成23年4月から平成24年3月まで21回開催するなど、市民と市の協働により検討を重ねてきました。

図表 検討組織と検討体制



※1 基本構想策定庁内検討委員会

基本構想の策定に係る情報の収集・分析や基本構想の策定に伴う市民との意見交換などの調査検討を行うため、平成22年10月に設置した、市職員・監理団体職員で構成する組織(公募含む15人で構成)

※2 総合計画策定推進委員

基本構想・基本計画等の策定・推進に関して助言を受けるために設置している専門委員

## (2) 市民会議における基本構想案の概要

市民会議では、以下に掲げたまちづくりの骨格を示す8つの目標と14のテーマについて検討を進めてきました。

図表 市民会議における主な検討テーマ

### 目標1 共に助け合い、安全・安心に暮らすために

#### 【テーマ1 防災・防犯】

将来像：地域で共に助け合う、災害に強く犯罪の少ないまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

市民の尊い生命と貴重な財産を守るため、自らの安全は自らが守る「自助」、地域で共に助け合う「共助」、公共が行う「公助」が連携して、だれもが安全で安心して暮らせるよう、災害に強く犯罪の少ないまちを目指します。

### 目標2 次代を担う子どもたちを育てるために

#### 【テーマ2 子ども・子育て支援】

将来像：調布の自然の中で、子どもを安心してのびのびと育てられるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

子どもの安全・安心を守るまちの基盤づくりや、地域での見守りネットワークづくりとともに、豊かな調布の自然とふれあえる身近な遊び場づくりにより、子どもが元気に、のびのびと育つまちを目指します。

#### 【テーマ3 学校教育】

将来像：子どもたちの個性を伸ばし、たくましく生きる力と豊かな人間性を育むまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

それぞれの個性を伸ばし、主体的に考える力を育むための機会や環境を整備するとともに、学力だけでなく体力や社会性、人間性も養えるような学校づくりと地域や自然、多世代との交流などさまざまな経験ができる環境づくりを進めます。

#### 【テーマ4 青少年の健全育成】

将来像：青少年が地域の中で様々な体験や交流を通じて成長できるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

世代を超えた地域のつながりや、交流の機会を充実させるとともに、学校以外での遊びや体験を通じて人間性や社会性・多様性を身につけ健やかに成長できるまちを目指します。

目標3 みんなで支え合い、安心していきいきと暮らすために

【テーマ5 福祉（地域福祉・高齢福祉・障害者福祉）】

将来像：互いに認め支えあい、安心していきいきとして暮らせるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

様々な立場の方へ理解を深め、地域での高齢者・障害者の見守り・サポートを促すことにより、高齢者・障害者が孤立せずに、いきいきとした生活を送ることのできるまちを目指します。

目標4 健康で身近な学びと交流のあるまちをつくるために

【テーマ6 健康づくり】

将来像：生涯にわたって、心身ともに健康で笑顔あふれる生活を送ることのできるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

積極的に健康づくり活動に取り組むことで、笑顔があふれ、生涯にわたって心身ともに健康で、自分らしい生活を送ることができるまちを目指します。

【テーマ7 スポーツ・レクリエーション】

将来像：誰もが気軽にスポーツを楽しみ、集うことにより、市民みんなが元気になるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

既存施設の有効活用や利用者の声を反映した施設の整備を進めるとともに、地域に根付いた活動を支援することにより、市民一人ひとりがスポーツ活動をより身近に感じることができるまちを目指します。また、調布ゆかりのチームや選手を、市を挙げて応援する体制を整えることにより、市民が一丸となってスポーツを楽しむまちを目指します。

【テーマ8 生涯学習】

将来像：出会うや交流の輪が広がり、すべての世代がいきいきと暮らせるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

既存施設の有効活用や関連団体との連携強化、情報発信の強化など、一人ひとりの生涯学習活動の輪を広げるための支援を行い、生涯学習の気運を高めることにより、すべての人が生きがいを持って学び暮らせるまちを目指します。

目標5 地域のつながりの中で、ぬくもりある暮らしをおくるために

【テーマ9 地域コミュニティ】

将来像：地域のつながりや連帯感を大切に、誰もがぬくもりに触れ合えるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

地域に開かれた場づくりや顔が見えるネットワークづくりを進めることにより、一人ひとりが地域コミュニティの大切さを理解し、地域すべての人がコミュニティ活動に参加している、地域のつながりや連帯感が強く、ぬくもりに触れ合えるまちを目指します。

目標6 地域資源を生かした活力あるまちをつくるために

【テーマ10 産業・観光振興】

将来像：みんなが愛着と誇りをもてる“これぞ調布”という地域の特色がきらりと光るまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

商店街の活性化や企業誘致、都市農業の振興、地域資源の発掘・活用など、地域の特色を生かしたまちづくりを進めるとともに、「これぞ調布」というまちの資源を磨き上げることにより、市民が地元へ愛着を持ち、観光客からもまた訪れたいと思われるまちを目指します。

【テーマ11 芸術・歴史文化】

将来像：調布らしい芸術・歴史文化が身近に感じられ、新たな世代に受け継がれていくまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

映画など独自の芸術・文化や各地域の歴史的資源のさらなる活用を図り、市民の誇りと愛着を醸成するとともに、子どもの頃から芸術・歴史文化に触れる機会を創出することにより、未来を担う新たな世代に調布らしい芸術・歴史文化が伝承されるまちを目指します。

目標7 快適で利便性の高いまちをつくるために

【テーマ12 市街地整備（住環境・街並み・景観）】

将来像：多世代がいつまでも快適に暮らせる、くつろぎとふれあいに満ちたまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

子どもからお年寄りまで、だれもが気軽に憩える住環境を目指すとともに、まちに誇りと愛着を持って活気と魅力あるまちづくりを進めることにより、多様な世代がいつまでもくつろぎとふれあいに満ちた空間の中で、快適に暮らし続けることができるまちを目指します。

【テーマ13 道路・交通】

将来像：だれもが便利で安全・安心に移動できる、良好な交通環境のあるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

地域の特性を踏まえつつ、幹線道路や生活道路の整備充実を図り、歩行者と自転車利用者の双方にとって快適な通行空間を確保するとともに、公共交通及び駅周辺の交通利便性の向上などを総合的に進めることによって、だれもが便利で安全・安心に移動できる良好な交通環境が整ったまちを目指します。

目標8 環境にやさしく、自然と共生するために

【テーマ14 水・緑・環境保全】

将来像：豊かな自然や身近な緑を大切に守り、育て、人と自然が共に生きるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

豊かでうるおいのある自然環境を将来世代に継承するため、身近な緑を大切に守り、育てるとともに、市民・事業者・行政などが連携し、各主体の役割に応じた環境にやさしい取組を進めることによって、人と自然が共生するまちを目指します。

### 3 調査の内容（設問の構成）

本調査は、「今後のまちづくりの方向性」、「総合計画策定への参加」の2区分から構成されており、具体的な設問構成は以下の通りです。

図表 設問の構成

問	内容
<b>「今後のまちづくりの方向性」について</b>	
27	「テーマ14 防災・防犯」の将来像について、どのように感じますか。
28	「テーマ14 防災・防犯」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
1	「テーマ1 子ども・子育て支援」の将来像について、どのように感じますか。
2	「テーマ1 子ども・子育て支援」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
3	「テーマ2 学校教育」の将来像について、どのように感じますか。
4	「テーマ2 学校教育」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
5	「テーマ3 青少年の健全育成」の将来像について、どのように感じますか。
6	「テーマ3 青少年の健全育成」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
9	「テーマ5 福祉（地域福祉・高齢福祉・障害者福祉）」の将来像について、どのように感じますか。
10	「テーマ5 福祉（地域福祉・高齢福祉・障害者福祉）」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
7	「テーマ4 健康づくり」の将来像について、どのように感じますか。
8	「テーマ4 健康づくり」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
17	「テーマ9 スポーツ・レクリエーション」の将来像について、どのように感じますか。
18	「テーマ9 スポーツ・レクリエーション」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
15	「テーマ8 生涯学習」の将来像について、どのように感じますか。
16	「テーマ8 生涯学習」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
19	「テーマ10 地域コミュニティ」の将来像について、どのように感じますか。
20	「テーマ10 地域コミュニティ」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
11	「テーマ6 産業・観光振興」の将来像について、どのように感じますか。
12	「テーマ6 産業・観光振興」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
13	「テーマ7 芸術・歴史文化」の将来像について、どのように感じますか。
14	「テーマ7 芸術・歴史文化」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
21	「テーマ11 市街地整備（住環境・街並み・景観）」の将来像について、どのように感じますか。
22	「テーマ11 市街地整備（住環境・街並み・景観）」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
23	「テーマ12 道路・交通」の将来像について、どのように感じますか。
24	「テーマ12 道路・交通」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
25	「テーマ13 水・緑・環境保全」の将来像について、どのように感じますか。
26	「テーマ13 水・緑・環境保全」について、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。
<b>「総合計画策定への参加」について</b>	
29	今後、調布市の新たな総合計画づくりに参加したいと思いますか。
30	どのような手法で参加できますか。また、どのような参加手法をとれば、より多くの市民の意見が行政に届きやすいと思いますか。
31	参加をしない・関心がない理由は、主にどのようなことですか。

## 4 調査方法及び調査期間

### (1) 調査対象者

市内に在住する満 18 歳以上の市民を対象とし、住民基本台帳から、性別・年齢・地域構成に合わせて、約 3,000 人を無作為に抽出しました。

### (2) 配布と回収

郵送による調査票の配布、返信用封筒による回収を行いました。

### (3) 調査期間

平成 24 年 2 月 22 日（水）～平成 24 年 3 月 7 日（水）

## 5 回収の結果

調査票の回収率は 44.5% であり、各属性の回収結果は以下の通りです。

図表 属性ごとの回収結果

属性		対象者数 <sup>注1)</sup>		配布数 <sup>注2)</sup>		回収数		回収率 (%) (b/a)
		実数 (人)	構成比 (%)	実数(票) (a)	構成比 (%)	実数(票) (b)	構成比 (%)	
<b>総 数</b>		<b>185,431</b>	<b>100.0</b>	<b>2,995</b>	<b>100.0</b>	<b>1,332</b>	<b>100.0</b>	<b>44.5</b>
性別	男性	91,110	49.1	1,476	49.3	511	38.4	34.6
	女性	94,321	50.9	1,519	50.7	798	59.9	52.5
	無回答	—	—	—	—	23	1.7	—
年 齢	18～19 歳	3,648	2.0	59	2.0	10	0.8	16.9
	20～29 歳	27,990	15.1	445	14.9	117	8.8	26.3
	30～39 歳	37,157	20.0	599	20.0	181	13.6	30.2
	40～49 歳	35,792	19.3	583	19.5	269	20.2	46.1
	50～59 歳	24,036	13.0	390	13.0	205	15.4	52.6
	60～69 歳	25,649	13.8	414	13.8	242	18.2	58.5
	70 歳以上	31,159	16.8	505	16.9	296	22.2	58.6
	無回答	—	—	—	—	12	0.9	—
地 域	東部地域	45,583	24.6	739	24.7	321	24.1	43.4
	北部地域	39,657	21.4	639	21.3	290	21.8	45.4
	南部地域 (中心市街地)	29,024	15.7	468	15.6	177	13.3	37.8
	南部地域 (中心市街地以外)	37,683	20.3	603	20.1	275	20.6	45.6
	西部地域	33,484	18.1	546	18.2	242	18.2	44.3
	無回答	—	—	—	—	27	2.0	—

注1)平成 24 年 1 月 1 日現在の 18 歳以上の住民基本台帳登録者数。

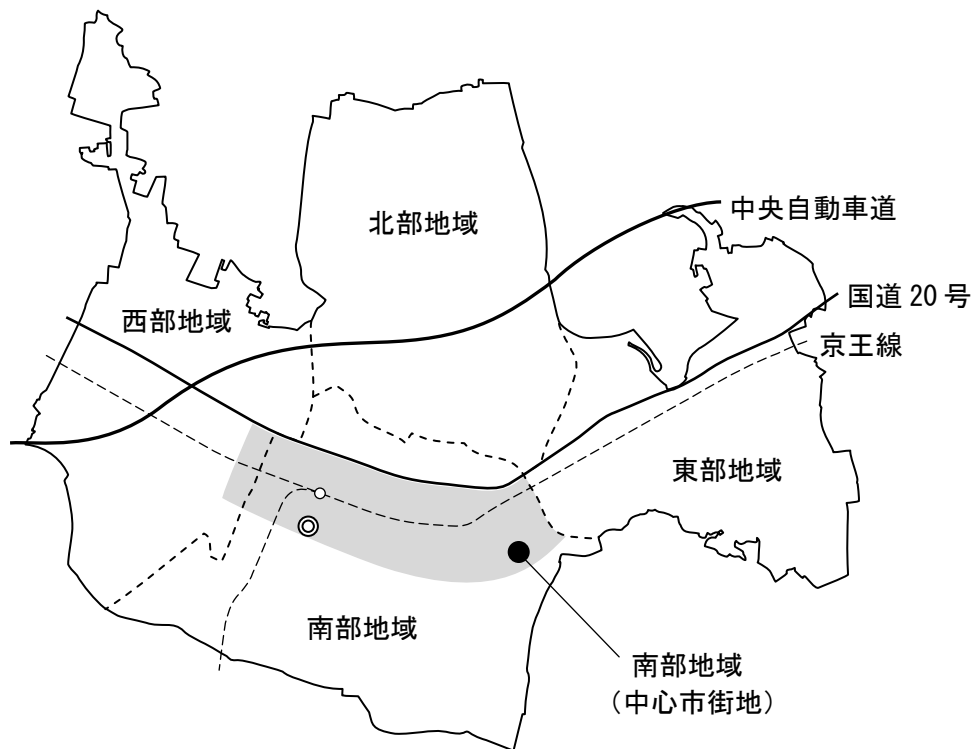
2)宛名不明等の理由により、差し戻された分を除いた値。



**6 地域区分**

本調査における地域区分は、以下の通りです。

図表 各地域の位置と対象となる町丁目



1 東部地域	2 北部地域	3 南部地域 (中心市街地)	4 南部地域 (中心市街地以外)	5 西部地域
菊野台1～3丁目 東つつじヶ丘1～3丁目 西つつじヶ丘1～4丁目 入間町1～3丁目 仙川町1～3丁目 緑ヶ丘1～2丁目 若葉町1～3丁目	佐須町1～5丁目 柴崎1～2丁目 調布ヶ丘3～4丁目 深大寺元町1～5丁目 深大寺北町1～7丁目 深大寺東町1～8丁目 深大寺南町1～5丁目	小島町1～2丁目 布田1～4丁目 国領町1～5・8丁目	小島町3丁目 布田5～6丁目 国領町6～7丁目 染地1～3丁目 多摩川3～7丁目 調布ヶ丘1～2丁目 八雲台1～2丁目	飛田給1～3丁目 上石原1～3丁目 富士見町1～4丁目 下石原1～3丁目 多摩川1～2丁目 野水1～2丁目 西町

## 7 報告書を見る際の注意事項

### (1) 集計方法

- 本調査では、回答全体（n=1,332）をまとめて集計した「単純集計」のほか、性別や年齢層などの属性ごとに区分して集計した「クロス集計」を行っています。
- 年齢層別クロス集計について、18～19歳は回答数が少ないため、本調査の結果が調布市における当該年齢層の傾向と異なる可能性があることをご理解の上、調査結果をご覧ください。

### (2) 数値の端数処理方法

- 回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して端数処理を行っているため、百分率の合計が100%にならない場合や、内訳の合計が、表示されている値と一致しない場合があります。
- 上記比率の分母となる回答総数は、「n」として掲載しています。

### (3) 報告書における設問（テーマ）の掲載順

- 本調査を実施（開始）した平成24年2月上旬時点と、その後、市民会議が基本構想案（市民会議提案書）を取りまとめた平成24年3月末時点では、8つの目標及び14のテーマの掲載順が異なります。
- 本報告書では、市民会議から平成24年3月28日に提案された調布市基本構想案（市民会議提案書）に掲載された8つの目標及び14のテーマの順に合わせて編集しています。

### (4) 自由意見

- 自由意見は、市民会議で検討した14のテーマに基づいて分類しています。
- 複数分野について言及している場合は、適宜分離した上で、該当する項目に分割して掲載しています。

### (5) その他

- 本文及び図表において、設問選択肢の表記の長いものについては、煩雑さを避けるために、一部で表記を簡略化しています。
- 本文において、数値が判別しやすいよう、マイナスは「▲」で表記しています。
- 一般的に、母集団が2万人以上の場合、統計上、無限母集団として捉えるため、2,000件程度を対象とすれば母集団全体の意見を反映していると言われていています。本調査では、母集団は2万人以上の無限母集団であり、対象者数約3,000人（回収数約1,300件）は調査結果を見る上で、統計上有効な数値であると考えられます。
- ただし、標本を無作為に抽出した世論調査の統計数値には誤差があり、以下の公式によって算出されます。

$$\text{標本比率の標準誤差} = k \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \frac{P(1-P)}{n}}$$

※kは、信頼度に対する標準正規分布 t の大きさを表す。信頼度が95%のとき、kは1.96。